

せとまちトーク進捗管理シート

古瀬戸 連区

テーマ

小中一貫校の通学路の安全確保(イノシシが頻繁に出る)

課題・問題点の背景・理由

- ・イノシシ用の箱罾をどこに設置しているのか地域に教えてほしい
- ・学校PTAとの話し合いの場をつくってほしい
- ・コーディネーター仕事内容がいまいちよくわからない

解決手法

【行政】

教育部
学校
PTA
コミュニティースクール
が情報を共有する

【地域】

にじの丘学園
PTA
自治会(古瀬戸)
が情報を共有する

【その他】

関係する常任委員会

厚生文教委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

イノシシやヘビ、はちなどの危険生物の発見があり報告が学校にあった場合、まずは学校側が確認し、メール配信などで保護者に伝える。児童生徒には特にイノシシに出会った場合の対応を注意喚起している。また、コミュニティスクールを年に三回開催し、地域との意見交換や共有をおこなっている。また、そのほかにも必要な時にPTAや自治会と連絡調整を行い、対策を進めている。今後は情報交換をすすめることにより、あらゆる対策を進めていく。

【補足】